

産地生産基盤パワーアップ事業の評価結果

都道府県名 佐賀県

産地パワーアップ計画の評価結果

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状																目標																実績																地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)				達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
						平成28年度				平成29年度				令和元年度				平成28年度				平成29年度				令和元年度				平成28年度				平成29年度				令和元年度				事業実施前年度	目標年度	補正係数	価格補正後の実績																
						面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト																								
唐津東松浦地域農業再生協議会	2	唐津市	アスパラガス	集出荷施設の整備	販売額の10%以上の増加	6.6	135,855.8	988	2,009	2,223	7	156,000	1,010	2,223	8.7	175,171.4	930	1,155	1,118	1,033	1,155	1,118	1,033	1,155	1,118	1,033	1,155	1,118	1,033	1,155	1,118	1,033	1,155	1,118	1,033	1,155	1,118	1,033	-32.7%	新規等により下級品の発生が多くなるため、品質の確保に向けた取り組みを検討するようJAに指導を行っている。	生産量は順調に伸びているが、新規等により下級品の発生が多く単価が伸び悩んでいるため、品質の確保に向けた取り組みを検討するようJAに指導を行っている。																				
富士町農業再生協議会	1	佐賀市 神埼地区	高冷地野菜・ホウレンソウ・七草・レタス	集出荷施設の整備	販売額の10%以上の増加	24.3	190,924	685	4,281,113	7	262,700	685	4,710,606	21.5	219,346	595	651.84	587.90	1,109	4,330.3	7	0.928	1,075	4,330.3	7	0.928	1,075	4,330.3	7	0.928	1,075	4,330.3	7	0.928	1,075	4,330.3	7	0.928	1,075	11.5%	精算実績により検証する。	ホウレンソウは、目標を達成したが、七草は出荷量が89.99kg/aだったため、単価の減少が顕著となり、単価は過去5年の平均値(593)より低下している。七草については、単収に10,000パック増産見込み分(2.86kg/a)を上乗せした。	面積は、ホウレンソウとレタスが減少しているが、後継者の継承中止や、生産者の病状・死亡が原因である。生産量は、暖冬の影響で軟弱成長の七草が増加している。今後も目標達成に向け市場への出荷量増加に向けた取り組みがなされるよう指導する。また、レタスについても、一部で収量が減少しているため、安定生産のためトンネルのサイド開閉による霜害の抑制や、銅剤による防除等による天候に左右されにくい栽培技術の導入が推進されるよう指導を行う。																		
唐津東松浦地域農業再生協議会	3	唐津市 玄海町	玉ねぎ	べと病被害軽減のための防除作業	販売額の10%以上の増加	24.7	706,719.0	91	260	332	24.7	900,000	91	332	23.9	1,252,274.0	65	93	76	1,224	219.4%	219.4%	1,224	219.4%	219.4%	1,224	219.4%	219.4%	1,224	219.4%	219.4%	1,224	219.4%	219.4%	1,224	219.4%	219.4%	1,224	219.4%	219.4%	219.4%	販売価格が下落しているが、単価の増加による一時的な増収が認められている。価格補正後の実績としては、販売額の目標も達成できた。	面積は、従事者の病状や、乾腐病等による貯蔵腐敗の発生増加による一時的な増収が認められている。販売単価は下落傾向であったものの、単収の向上により目標は達成している。今後目標達成に向けては、単収の向上に向けた取り組みを検討するよう指導を行う。																		
白石町農業再生協議会	1	白石	たまねぎ	べと病被害軽減のための排水対策用機械の導入	販売額の10%以上の増加	99.1	3,829.0	100	31.2	36.6	99.1	4,507	100	36.6	86	3,821.0	75	88	74	1,189	39.6	100	1,189	39.6	100	1,189	39.6	100	1,189	39.6	100	1,189	39.6	100	1,189	39.6	100	1,189	155.6%	販売価格が下落しているが、単価の増加による増収が認められている。価格補正後の実績としては、販売額の目標も達成できた。	面積は、栽培管理に集中するために作付規模縮小する農家もいたことにより減少している。販売価格も下落したため、面積当たりの収量が減少している。目標は達成している。																				
白石町農業再生協議会	2	福富	たまねぎ	べと病被害軽減のための排水対策用機械の導入	販売額の10%以上の増加	390	10,653.0	98	24.7	28.9	393	12,517	98	28.9	393	13,224.0	74	88	74	1,189	29.6	100	1,189	29.6	100	1,189	29.6	100	1,189	29.6	100	1,189	29.6	100	1,189	29.6	100	1,189	116.7%	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したことによりJAからの出荷が減少したため、目標を達成できなかった。適正規格の生産、品質向上に向けた取組を行うことにより、販売価格の向上を図るよう指導を行う。	面積及び出荷量は増加したが、価格が低迷し、目標を達成できなかった。適正規格の生産、品質向上に向けた取組を行うことにより、販売価格の向上を図るよう指導を行う。																				

小城市農業再生協議会	2	三日月町北東部地区	麦	大型機械の導入による過期播種、管理作業の徹底	販売額の10%以上の増加	平成28年度	43.5 ha	209.0	kg/10a	42	円/kg	令和元年度	46 ha	241	kg/10a	42	円/kg	22,984円/10a	386kg/10a (内訳) 小麦(90%) 種子用 20,701kg 小麦(90%) 1,723kg 小麦(90%) 種子用 150.0円 大麦(9%) 種子用 34,018kg 大麦(9%) 151.6円 大麦(9%) 大粒 121,000kg	59.6円(1kg当り) (内訳: 1kg当り) 小麦(90%) 種子用 150.0円 小麦(90%) 1,723kg 小麦(90%) 種子用 7.0円 大麦(9%) 種子用 151.6円 大麦(9%) 大粒 19.0円	小麦(90%) 種子用 231.0 小麦(90%) 16.0 小麦(90%) 9.0 小麦(90%) 1.778 小麦(90%) 0.956 小麦(90%) 1.421	24,246円/10a	1150.9円	事業取組前は播種前の耕起作業、播種作業が過期に実施できなかったため発生率も悪く、大幅に減収していた。事業取組後は過期や過期播種、排水対策の実施が可能となり表の高品質化、収量の増加を、単位面積当たりの販売額を10%以上の増加を実現できた。また、達成率が高すぎる理由は気象状況が良いこと、過期播種、排水対策の実施が事業取組後に実現	過期管理の徹底により単位面積当たりの販売額について、事業効果が認められた。	
小城市農業再生協議会	3	三日月町南東部地区	麦	大型機械の導入による過期播種、管理作業の徹底	販売額の10%以上の増加	平成28年度	110 ha	254.0	kg/10a	53	円/kg	令和元年度	110 ha	268	kg/10a	57	円/kg	11,623円/10a	455kg/10a (内訳) 小麦(90%) 388,426kg 大麦(9%) 大粒 72,348kg 大麦(9%) 16.9円 59,626kg 大麦(9%) 大粒 138.4円	25.5円(1kg当り) (内訳: 1kg当り) 小麦(90%) 9.0円 小麦(90%) 9.0円 小麦(90%) 1.778 小麦(90%) 0.956 小麦(90%) 1.421	小麦(90%) 16.0 小麦(90%) 9.0 小麦(90%) 1.778 小麦(90%) 1.421 小麦(90%) 1.040	14,736円/10a	70.2円	R元年産は麦の収量は良かったが、大麦の品質低下により、全量ビール大麦の買取りができなくなり、一部、大粒大麦の買取りとなった。販売額が下がった。大麦の栽培については、過期防除の徹底や過期播種、排水対策、刈取期間間における収穫の徹底を今後も実施することにより、麦の収量・高品質化を目指し、単位面積当たりの販売額を10%以上の増加を	品質の確保に向けた取り組みに努めるよう、関係機関一体となつて指導を行う。	
嬉野市農業再生協議会	2	塩田町三新地区	麦	麦の適正播種による高品質の麦出荷量の増加を図る。 また団地化し、大型農業機械を有効利用することで生産コストを削減し所得額の10%以上の増加を図る。	所得額の10%以上の増加	平成28年度	38 ha	36,051円/10a	kg/10a	【小麦】331 【大麦】266	円/kg	令和元年度	38 ha	343	kg/10a	28	円/kg	29,981円/10a	【小麦】498 【大麦】554	【小麦・大麦】35,526	18,632円/10a	479.9円	【現状】生産費45,625円/10a 販売額0,574円/10a 【目標】生産費43,800円/10a 販売額1,379円/10a 【検証方法】作物費については法人としての実績資料、労働費については作業日誌にて確認する。労働費の現状値については統計簿参照。麦の収量については共済組合資料及び共済通知書にて確認する。 【実績】生産費35,526円/10a 販売額1,379円/10a 補正前2,188,074円 補正後6,666,508円、16,894円/10a 作付面積32,462a	小麦・大麦ともに現状値と比較すると、収量が大幅に増加している。また多収品種に切り替えた大麦についてはその効果が顕著に表れている。また生産コストについても削減し、目標を達成できている。	過期管理の徹底による収量の増加と生産コストの削減により所得が増加し、事業効果が認められた。	販売単価は、仮渡額。
嬉野市農業再生協議会	3	塩田町真崎地区	麦	耕うん同時耕立て播種の実施による過期播種、過期刈取りによる収量の増加。	販売額の10%以上の増加	平成28年度	30.9 ha	9,837円/10a	kg/10a	【小麦】312 【大麦】299	円/kg	令和元年度	30.9 ha	316	kg/10a	28	円/kg	6,093円/10a	【小麦】466 【大麦】472	【小麦・大麦】7,180	14,846円/10a	500.4円	【現状】販売額 3,041,692円 作付面積3,092a 【目標】販売額 3,351,232円 作付面積 3,092a 【検証方法】麦の作付面積については共済組合資料、麦の収量については共済組合資料及び共済通知書にて確認する。 【実績】補正前販売額1,668,375円 補正後販売額4,928円 作付面積27,39ha	小麦、大麦ともに現状の大幅増加に伴い販売額も増加しており目標を達成することができている。	過期管理の徹底により、収量が増加し事業効果が認められた。	販売単価は、仮渡額。
嬉野市農業再生協議会	4	塩田町下童地区	麦	耕うん同時耕立て播種の実施による過期播種、過期刈取りによる収量の増加。	販売額の10%以上の増加	平成28年度	30 ha	8,137円/10a	kg/10a	【小麦】264 【大麦】223	円/kg	令和元年度	30 ha	248	kg/10a	28	円/kg	5,082円/10a	【小麦】472 【大麦】448	【小麦・大麦】7,180	15,339円/10a	868.7円	【現状】販売額 2,916a 販売額 2,689,800円 作付面積 3,000a 【目標】販売額 3,000a 作付面積 3,000a 【検証方法】麦の作付面積については共済組合資料、麦の収量については共済組合資料及び共済通知書にて確認する。 【実績】補正前販売額1,575,900円 補正後販売額4,756,600円 作付面積31,01ha	小麦、大麦ともに現状と比較すると収量は大幅に増加し、販売額も増加している。	過期管理の徹底により、収量が増加し事業効果が認められた。	販売単価は、仮渡額。
嬉野市農業再生協議会	5	塩田町五町田地区	麦	麦の適正播種による高品質の麦出荷量の増加を図る。 また団地化し、大型農業機械を有効利用することで生産コストを削減し所得額の10%以上の増加を図る。	所得額の10%以上の増加	平成28年度	27 ha	36,080円/10a	kg/10a	【小麦】313 【大麦】251	円/kg	令和元年度	27 ha	296	kg/10a	28	円/kg	35,018円/10a	【小麦】7,59 【大麦】23.6	【小麦・大麦】41,540	29,091円/10a	192.3円	【現状】生産費45,625円/10a 販売額0,574円/10a 【目標】生産費43,800円/10a 販売額1,379円/10a 【検証方法】作物費については法人としての実績資料、労働費については作業日誌にて確認する。労働費の現状値については統計簿参照。麦の収量については共済組合資料及び共済通知書にて確認する。 【実績】生産費41,540円/10a 販売額1,379円/10a 補正前2,037,474円 補正後5,686,989円、12,449円/10a 作付面積31,24ha	小麦・大麦ともに現状値と比較すると、収量が大幅に増加している。また多収品種に切り替えた大麦についてはその効果が顕著に表れている。また生産コストについても削減し、目標を達成できている。	過期管理の徹底による収量の増加と生産コストの削減により所得が増加し、事業効果が認められた。	販売単価は、仮渡額。

都道府県平均達成率 80%

総合所見 令和元年度評価の対象地区である、11地区のうち、目標達成している地区は8地区、未達が3地区となっている。また、県全体での平均達成率は80%となった。品目別では、麦については、達成が5地区、未達が4地区、また、野菜については、達成が3地区、未達が2地区となっている。
・未達となった地区のうち、麦では、大麦の品質低下により、全量ビール大麦の買取りではなく、一部、大粒大麦の買取りとなった為、販売額が低下した。
・野菜のうち、アスパラガスでは、新株等による下級品の発生が増加し、販売単価が落ち込んでいる。高冷地野菜では、暖冬の影響等により、生産量の落ち込みが、単位面積当たりの販売額に影響し、目標を達成できなかった。
いずれの取組についても、今後目標達成となるよう関係機関と連携し、過期管理の徹底・品質向上による販売額の増加、天候に左右されにくい栽培技術の普及のための支援を行っていく。

○取組主体計画の評価結果

地域協議会名	整理番号	地区名	取組主体名	対象作物名	面積 (ha)	農業者数	事業実施年度	目標年度	取組目標	現状値			事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	取組目標の達成状況	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価	
										(28年度)	(32年度)	(R1年度)						
唐津東松浦協議会	2	1	唐津市	唐津農業協同組合	アスパラガス	5.82	25	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(平成28年度) 単位面積当たりの販売額 2,144千円/10a	(平成31年度) 単位面積当たりの販売額 2,426千円/10a	単位面積当たりの販売額1,970千円/10a	[アスパラガス集出荷施設] ・建物設備 112㎡ ・選別機 1台 ・自動計量結束機 2台	-61.7%	新植等により下級品の発生が多く単価が伸び悩んでいる。今後は、下級品の販売努力を行い単価向上に努める。数量は、計画から129%と順調に規模拡大が進んでいる。	新植等により下級品の発生が多く単価が伸び悩んでいるため、品質の確保に向けた取り組みを検討するようJ Aに指導を行っていく。	生産量は順調に伸びているが、新植等により下級品の発生が多く単価が伸び悩んでいるため、品質の確保に向けた取り組みを検討するよう、関係機関一体となって指導を行っていく。
富士町農業再生協議会	1	1	佐賀市富士地区 神埼市脊振地区	佐賀県農業協同組合	高冷地野菜 ・ハウレンソウ ・七草 ・レタス	25.07	54	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(平成28年度) 単位面積当たりの販売額 4,281,113円/10a	(平成31年度) 単位面積当たりの販売額 4,710,606円/10a 【全体】(10.0%増)	単位面積当たりの販売額 4,330,349円/10a	[集出荷貯蔵施設] ・共同選果施設 160.7㎡ ・真空予冷設備 2基 ・保冷設備 1基	11.5%	七草は、暖冬による軟弱成長のため生産ロスが発生したことや年末商材の全体的な買い控えによる受注量の減少により、単位面積の販売額が伸びなかった。七草は全量相対販売が減少しているため、レタスについては、一部で収穫量が減少している。また、レタスについては、厳寒期の霜害による腐敗病で一部収穫量が減少した。	ハウレンソウは、目標を達成したが、七草は出荷量が89.99kg/aだったため、単位面積の販売額が伸びなかった。今後も目標達成に向け市場への出荷量増加に向けた営農活動がなされるよう指導する。また、レタスについては、一部で収穫量が減少している。また、レタスも一部で収穫量が減少しているため、安定生産のためトンネルのサイド開帳による霜害の抑制や、銅剤による防除等による天候に左右されにくい栽培技術の導入が推進されるよう指導する。	面積は、ハウレンソウとレタスが減少しているが、後継者の継承中止や、生産者の病気・死亡が原因である。生産量は、暖冬の影響で軟弱成長となり、単位面積あたり販売額が減少している。今後も目標達成に向け市場への出荷量増加に向けた営農活動がなされるよう指導する。また、レタスも一部で収穫量が減少しているため、安定生産のためトンネルのサイド開帳による霜害の抑制や、銅剤による防除等による天候に左右されにくい栽培技術の導入が推進されるよう、関係機関一体となっ
唐津東松浦地域農業再生協議会	3	1	唐津市 玄海町	玉ねぎ防除組合	玉ねぎ	24.7	9名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 260千円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 332千円/10a	単位面積当たりの販売額 418千円/10a	【機械導入】 ・兼用管理機 散布幅15.9m 3台 ・兼用管理機 散布幅10.2m 1台	219.4%	販売単価は下落傾向だったものの、防除効果により単収の向上が図られ10a収入が向上した。販売単価の向上に向けた取り組みを検討するよう組合に指導を行っていく。	販売単価は下落傾向だったものの、防除効果により単収の向上が図られ10a収入が向上した。販売単価は下落傾向であったものの、単収の向上により目標は達成している。今後も販売単価の向上に向けた取り組みを検討するよう指導を行う。	面積は、従事者の病気や、乾腐病等による貯蔵腐敗の発生増加による一時栽培中止があったため減少している。販売単価は下落傾向であったものの、単収の向上により目標は達成している。今後も販売単価の向上に向けた取り組みを検討するよう指導を行う。
白石町農業再生協議会	1	1	白石	個人	たまねぎ	4.0	1名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 31.2万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 36.6万円/10a	単位面積当たりの販売額27.8万円/10a (補正係数 1.189)	【機械導入】 ・もみ殻暗渠施工機 (85分/10a) 1台 (施工深調整アタッチメント有)	-63.0%	効果の発現がみられ、収量の増加ができたが、乾腐病などの貯蔵腐敗の発生により、販売額の目標達成ができなかった。	育苗期からの防除及び栽培管理の徹底により病害の発生が無く品質の良いたまねぎが生産できるよう指導する。	育苗期からの防除及び栽培管理の徹底により病害の発生が無く品質の良いたまねぎが生産できるよう指導する。

白石町 農業再生協議会	2	1	福富	福富もみ殻暗渠施工機第一組合	たまねぎ	9.0	3名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 24.7万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 28.9万円/10a	単位面積当たりの販売額 50.7万円/10a (補正係数 1.189)	【機械導入】 ・もみ殻暗渠施工機(85分/10a)1台	619.0%	効果の発現がみられ、収量が増加し、目標達成できた。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	単位面積当たりの収量が増加し、目標達成できた。
		2	福富	福富もみ殻暗渠施工機第二組合	たまねぎ	10.0	2名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 24.7万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 28.9万円/10a	単位面積当たりの販売額 43.2万円/10a (補正係数 1.189)	【機械導入】 ・もみ殻暗渠施工機(85分/10a)1台	440.5%	効果の発現がみられ、収量が増加し、目標達成できた。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	単位面積当たりの収量が増加し、目標達成できた。
		3	福富	個人	たまねぎ	7.4	1名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 24.7万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 28.9万円/10a	単位面積当たりの販売額 42.6万円/10a (補正係数 1.189)	【機械導入】 ・トラクターカルチ(13.2分/10a)1台	426.2%	効果の発現がみられ、目標達成できた。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	単位面積当たりの収量が増加し、目標達成できた。
		4	福富	福富粗耕起作業機組合	たまねぎ	10.8	2名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 24.7万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 28.9万円/10a	単位面積当たりの販売額 39.0万円/10a (補正係数 1.189)	【機械導入】 ・粗耕起作業機(11.8分/10a)1台	340.5%	効果の発現がみられ、収量が増加し、目標達成できた。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	単位面積当たりの収量が増加し、目標達成できた。
		5	福富	個人	たまねぎ	12.0	1名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 24.7万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 28.9万円/10a	単位面積当たりの販売額 33.0万円/10a (補正係数 1.189)	【機械導入】 ・もみ殻暗渠施工機(85分/10a)1台 (施工深調整アタッチメント有)	197.6%	効果の発現がみられ、収量が増加し、目標達成できた。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	単位面積当たりの収量が増加し、目標達成できた。
		6	福富	個人	たまねぎ	7.2	1名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 24.7万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 28.9万円/10a	単位面積当たりの販売額 50.7万円/10a (補正係数 1.189)	【機械導入】 ・もみ殻暗渠施工機(85分/10a)1台 (施工深調整アタッチメント有)	619.0%	効果の発現がみられ、収量が増加し、目標達成できた。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	単位面積当たりの収量が増加し、目標達成できた。
		7	福富	個人	たまねぎ	9.5	1名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 24.7万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 28.9万円/10a	単位面積当たりの販売額 58.9万円/10a (補正係数 1.189)	【機械導入】 ・もみ殻暗渠施工機(85分/10a)1台 (施工深調整アタッチメント有)	814.3%	効果の発現がみられ、収量が増加し、目標達成できた。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	単位面積当たりの収量が増加し、目標達成できた。
		8	福富	個人	たまねぎ	7.0	1名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 24.7万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 28.9万円/10a	単位面積当たりの販売額 91.3万円/10a (補正係数 1.189)	【機械導入】 ・もみ殻暗渠施工機(85分/10a)1台 (施工深調整アタッチメント有)	1585.7%	効果の発現がみられ、反収が増加し、目標達成できた。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	単位面積当たりの収量が増加し、目標達成できた。

白石町 農業再生協議会	3	1	南有明・有明干拓	南有明もみ殻暗渠施工機組合	たまねぎ	8.2	4名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 26.0万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 29.3万円/10a	単位面積当たりの販売額 51.6万円/10a	【機械導入】 ・もみ殻暗渠施工機(85分/10a)1台	775.8%	効果の発現がみられ、反収が増加し、目標達成できた。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	単位面積当たりの収量が増加し、目標達成できた。
		2	南有明・有明干拓	個人	たまねぎ	6.0	1名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 26.0万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 29.3万円/10a	単位面積当たりの販売額 35.2万円/10a	【機械導入】 ・粗耕起作業機(11分/10a)1台	278.8%	効果の発現がみられ、反収が増加し、目標達成できた。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	単位面積当たりの収量が増加し、目標達成できた。
		3	南有明・有明干拓	有明干拓有機肥料散布機組合	たまねぎ	8.2	3名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 26.0万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 29.3万円/10a	単位面積当たりの販売額 40.4万円/10a	【機械導入】 ・有機肥料散布機(11.9分/10a)1台	436.4%	効果の発現がみられ、反収が増加し、目標達成できた。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷したが、反収の向上により目標達成できた。	単位面積当たりの収量が増加し、目標達成できた。
		4	南有明・有明干拓	株式会社 あくり有明	たまねぎ	12.5	8名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 26.0万円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 29.3万円/10a	単位面積当たりの販売額 16.5万円/10a	【機械導入】 ・レーザーレベラー(39.68分/10a)1台 ・もみ殻暗渠施工機(42.52分/10a)1台	-287.9%	効果の発現がみられ、収量は増加してきたが、販売単価の下落により、販売額の目標達成ができなかった。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷した。過期定植や栽培管理の徹底により品質向上に向けた取組を行うよう指導を行う。	暖冬により生育・肥大が進み大玉傾向となり価格が低迷した。過期定植や栽培管理の徹底により品質向上に向けた取組を行うよう指導を行う。
大和町 農業再生協議会	1	1	大和	個人	麦	47.3	1名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 4219.6円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 4658.3円/10a	単位面積当たりの販売額 3343.1円/10a	【リース】 ・乗用管理機 散布幅15.9m 1台	-199.8%	防除作業の徹底により収穫量は増加したが、県全体の生産量が大幅に増加したため販売単価が大きく下がり、達成率は低くなった。	防除作業の徹底により収穫量は増加したが、県全体の生産量が大幅に増加したため販売単価が大きく下がり、達成率は低くなった。	収量・品質の確保に向けた取組みに努めるよう、関係機関一体となって指導を行う。
小城市 農業再生協議会	2	1	三日月町北東部地区	有限会社 陣内農産	麦	43.5	4名	平成29年度	平成31年度	販売額の10%以上の増加	(28年度) 単位面積当たりの販売額 8,778円/10a	(31年度) 単位面積当たりの販売額 10,122円/10a	単位面積当たりの販売額 24,246円/10a	【リース】 ・トラクター 54PS 2台 ・逆転ロータリー 耕幅1610mm 2台 ・サブソイラー 1台 ・トラクターカルチ 2台	1150.9%	過期における防除の徹底や過期播種、排水対策を実施。結果、麦の高品質化、収量の増加をし、単位面積当たりの販売額の10%以上の増加を実現できた。	事業取組前は播種前の耕起作業、播種作業が過期に実施できなかったため発芽率も悪く、大幅に減収していた。事業取組後は過期における防除の徹底や過期播種、排水対策の実施が可能となり麦の高品質化、収量の増加をし、単位面積当たりの販売額の10%以上の増加を実現できた。また、達成率が高すぎる理由は気象状況が良いこと、過期播種、排水対策の実施が事業取組後に実現できたことである。	過期管理の徹底により単位面積当たりの販売額について、事業効果が認められた。

小城市 農業再生協議会	3	1	三日月町南東部 地区	農事組合法人 南部第一 ファーム	麦	110	55名	平成 29年 度	平成31年 度	販売額の 10%以上の 増加	(28年度) 単位面積当 たりの販売 額 13,462円/10a	(31年度) 単位面積当 たりの販売 額 15,276円/10a	単位面積当 たりの販売 額 14,736円/10a	【リース】 ・トラクター 54P S 1台 ・トラクター 48P S 2台 ・トラクター 28P S 1台 ・逆転ロータリー 耕幅1610mm 1台 ・逆転ロータリー 耕幅1510mm 2台 ・サブソイラー 2連 1台 ・麦中耕除草機 1台	70.2%	R元年産は麦の収量は良かったが、大麦の品質低下により、全量ビール大麦の買い取りではなく、一部、大粒大麦の買い取りとなった為、販売額が下がった。麦の栽培については、適期防除の徹底や適期播種、排水対策、刈取適期期間における収量の徹底を今後も実施することにより麦の高収量・高品質化を目指し、単位面積当たりの販売額の10%以上の増加を実現する。	R元年産は麦の収量は良かったが、大麦の品質低下により、全量ビール大麦の買い取りではなく、一部、大粒大麦の買い取りとなった為、販売額が下がった。麦の栽培については、適期防除の徹底や適期播種、排水対策、刈取適期期間における収量の徹底を今後も実施することにより麦の高収量・高品質化を目指し、単位面積当たりの販売額の10%以上の増加を実現する。	品質の確保に向けた取り組みに努めるよう、関係機関一体となって指導を行う。
嬉野市 農業再生協議会	2	1	塩田三新地区	農事組合法人 アグリ三新	麦	38	26名	平成 29年 度	平成31年 度	所得額の 10%以上の 増加	(28年度) 36,051円/10a	(31年度) 32,421円/10a	18,632円 /10a	【リース】 ・トラクタ(57ps 1台) ・コンバイン(5条/98ps 1台) ・アッパーロータリー(170cm 1台)	479.9%	新たな技術を導入し、また適期管理に努めたことで、収量の増加が図られた。また大型機械の導入により労働時間の削減に努めたことで生産コストも削減し目標を達成している。	小麦・大麦ともに現状値と比較すると、収量が大幅に増加している。また多収品種に切り替えた大麦についてはその効果が顕著に表れている。また生産コストについても削減し、所得額10%アップの目標を達成できている。	適期管理の徹底による収量の増加と生産コストの削減により所得が増加し、事業効果が認められた。
嬉野市 農業再生協議会	3	1	塩田町 真崎地区	農事組合法人 真崎	麦	30.9	18名	平成 29年 度	平成31年 度	販売額の 10%以上の 増加	(28年度) 9,837円/10a	(31年度) 10,838円/10a	14,846円/10a	【リース】 ・トラクタ(54ps 1台) ・逆転ロータリー(1台)	500.4%	機械の導入により、適期播種ができ、小麦、大麦とも収量が増加し、目標を達成することができた。	小麦、大麦ともに単収が現状値と比較すると収量が大幅に増加し、目標を達成することができている。	適期管理の徹底により、収量が増加し事業効果は認められた。
嬉野市 農業再生協議会	4	1	塩田町 下童地区	下童農事組 合法人	麦	30	24名	平成 29年 度	平成31年 度	販売額の 10%以上の 増加	(28年度) 8,137円/10a	(31年度) 8,966円/10a	15,339円/10a	【リース】 ・トラクタ(52ps 1台) ・アッパーロータリー(1台)	868.7%	小麦、大麦ともに現状値と比較すると収量が大幅に増加し、目標を達成することができている。	小麦、大麦ともに現状値と比較すると収量が大幅に増加し、目標を達成することができている。	適期管理の徹底により、収量が増加し事業効果は認められた。
嬉野市 農業再生協議会	5	1	塩田五町田 地区	農)五町田 ファーム	麦	30.0	38名	平成 29年 度	平成31年 度	所得額の 10%以上の 増加	(28年度) 36,080円/10a	(31年度) 32,445円/10a	29,091円/10a	【リース】 ・トラクター(54ps 1台) ・逆転ロータリー(160cm 1台) ・コンバイン(4条 1台)	192.3%	新たな技術を導入し、また適期管理に努めたことで、収量の増加が図られた。また大型機械の導入により労働時間の削減に努めたことで生産コストも削減し目標を達成している。	小麦・大麦ともに現状値と比較すると、収量が大幅に増加している。また多収品種に切り替えた大麦についてはその効果が顕著に表れている。また生産コストについても削減し、所得額10%アップの目標を達成できている。	適期管理の徹底による収量の増加と生産コストの削減により所得が増加し、事業効果が認められた。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【佐賀県】

市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等 区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R1)		事業実施後 (目標年度) 実績値	目標 達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の 判断理由
						目標値 (R1)	実績値			
唐津市	唐津東松浦地域 農業再生協議会	2	アスパラガス	販売額の10%以上の増 加 (目標:10.6%増)	単位面積当たりの 販売額 2,009千円/10a	単位面積当たりの 販売額 2,223千円/10a	単位面積当たりの 販売額 1,878千円/10a	-32.7%	達成状況が-32.7%と低調であること、改善策については品質の観点からも検討すべきであるため、唐津東松浦地域農業再生協議会を指導する必要がある。	
佐賀市	富士町農業再生 協議会	1	高冷地野菜 ・ホウレンソウ ・七草 ・レタス	販売額の10%以上の増 加 (目標:10.0%増)	単位面積当たりの 販売額 4,281,113円/10a	単位面積当たりの 販売額 4,710,606円/10a	単位面積当たりの 販売額 4,314,032円/10a	11.5%	達成状況が11.5%と低調であること、改善策については収量増の観点からも検討すべきであるため、富士町農業再生協議会を指導する必要がある。	
小城市	小城市農業再生 協議会	3	麦	販売額の10%以上の増 加	単位面積当たりの 販売額 13,462円/10a	単位面積当たりの 販売額 15,276円/10a	単位面積当たりの 販売額 14,736円/10a	70.2%	達成状況が70.2%と低調であること、改善策については品質の観点からも検討すべきであるため、小城市農業再生協議会を指導する必要がある。	

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。